

7 教育課程表(編入学生用)

II

編入学生特記事項

編

教育課程表

不動産学部 不動産学科 ビジネスコース 教育課程表

2022年度版 (18-22 不編-ビ)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、()の数字は単位数)				編入学時に 認定される 単位数	編入学後に 修得が必要 な単位数 (最低)	
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通 科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学包括認定)	-	
	人間 形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)						
		人間形成ゼミナール(2)						
	国際 理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)						
		国際理解ゼミナール(2)						
	社会 生活	法 学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)						
		社会生活ゼミナール(2)						
	キャリア 形成 教育	●キャリアプランニングⅠ(2)		●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			-	-
		キャリアデザイン(4)						
		<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)						
特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)								
<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.78								
<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.83 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム								
専 門 科 目	必修 科目	●不動産学基礎演習(4) ●不動産取引演習A(4)		●不動産取引演習C(4)		12 (編入学弾力認定)	-	
		●財産法の基礎(2) ●ミクロ経済学(2) ●都市計画の基礎(2) ●建築一般構造論(2) ●不動産法入門(2) ●不動産公法(2) ●不動産取引演習B(4)		●不動産学のための数学と統計(2)			●Basic English for Real Estate Business(2) ●Advanced English for Real Estate Business(2) ●不動産学研究(4)	
	選 修 必 修 科 目	学 科 共 通	担保物権法(2) 債権法(4) マクロ経済学(2) 土地と住宅の経済学(2) 会計学の基礎(2) 経営分析(2) 都市計画(2) 測量と地図(2) 地籍と不動産登記(2) 不動産情報処理演習(2) ハウジング論(2) 物権法(2)		借地借家法・区分所有法(2) 家族法(2) 不動産トラブルと法(2) 不動産金融法・不動産税法(2) 不動産経営戦略(2) 集合住宅管理論(2) 不動産経営計画(2) 不動産管理演習(4) 都市環境と防災(2) 建築設備(2)		18 (編入学弾力認定) 〔注〕 入学前の学修 状況(修得科目 等)により個別 に合計18単位 認定する。 したがって、 編入学後に修得 が必要な授業科 目は、認定され る授業科目によ り異なる。	(注) 34
			都市と建築の基本法(2) 不動産政策史(2) デザインの基礎演習(4) 建築史(2) 住宅計画(2) 住宅地計画実習(2) 不動産数理(2)		開発行政法(2) 環境法(2) 都市と環境の経済学(2) 計量経済学(2) 不動産金融論(4) 不動産鑑定評価論(4) 不動産会計財務論(2) 不動産ファイナンス(4) 法と政策の経済学(2) まちづくり演習(4) 都市開発と社会基盤(2) 建築計画(2) 設計製図A(2) 建築CAD演習(2) 建築環境計画(2) 建築材料学(2) 建築構造計画(2) インテリアデザイン演習(2) 建築環境デザイン(2) 材料学実験(2) 構造力学Ⅰ(2) 構造力学Ⅱ(2) 地理情報システム(4) 海外不動産事情(2)			
	選 修 科 目	不動産特別講義Ⅰ(2) 不動産特別講義Ⅱ(2) <単位認定科目> 不動産特別演習Ⅰ(2) 不動産特別演習Ⅱ(2) 不動産特別演習Ⅲ(2) 不動産特別実習(2)		設計製図B(2) 卒業論文(6)		62	(注) 20	
		不動産実務演習Ⅰ(2) 不動産実務演習Ⅱ(2)					(注) 18	
	実務演習 科目							
	合計卒業要件単位数(最低)					62	62	
						62	124	

※2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「資本市場の役割と証券投資(2単位)」及び「証券投資シミュレーション(2単位)」の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.78

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学時に 認定される 単位数	編入学後に 修得が必要 な単位数	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥				(履修できません。)
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6				(卒業要件には算入されません。)
計	32	32	-	-		
専門科目	必修科目	④⑥	⑫	③④ [*]	必修 全14科目34単位修得(認定単位数を含む。)	
	選択必修科目	学科共通	20	18 [*]	20 [*]	選択必修 【学科共通】から20単位修得(認定単位数を含む。) (*20単位を超えて修得した単位→「その他【専門科目】」へ算入)
		コース科目	18		18 [*]	選択必修 【コース科目】から18単位修得(認定単位数を含む。) (*18単位を超えて修得した単位→「その他【専門科目】」へ算入)
	その他【専門科目】	8		8 [*]	選択 選択必修科目、選択科目及び実務演習科目から8単位修得 (認定単位数を含む。)	
	計	92	30	62	-	
合計	124	62	62	-		

※入学前の学修状況(修得科目等)により個別に認定する。したがって、編入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位

不動産学部 不動産学科 ファイナンスコース 教育課程表

2022年度版 (18-22 不編-フ)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、()の数字は単位数)				編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数(最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学包括認定)	-
	人間力形成教育	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)		-		
		国際理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)			-
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)		-		
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)		●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)			-
		キャリアデザイン(4)					-
		<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)					-
		特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)					-
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.78					-
	専門科目	必修科目	●不動産学基礎演習(4) ●不動産取引演習A(4)		●不動産取引演習C(4)		12 (編入学弾力認定)
●財産法の基礎(2) ●ミクロ経済学(2) ●都市計画の基礎(2) ●建築一般構造論(2) ●不動産法入門(2) ●不動産公法(2) ●不動産取引演習B(4)			●不動産学のための数学と統計(2)		●Basic English for Real Estate Business(2) ●Advanced English for Real Estate Business(2) ●不動産学研究(4) ●不動産金融論(4)		(注)34
選択必修科目		学科共通	担保物権法(2) 債権法(4) マクロ経済学(2) 土地と住宅の経済学(2) 会計学の基礎(2) 経営分析(2) 都市計画(2) 測量と地図(2) 地籍と不動産登記(2) 不動産情報処理演習(2) ハウジング論(2) 物権法(2)				(注)20
		コース科目	会社法(2) 家族法(2) 不動産金融法・不動産税法(2) 環境法(2) 計量経済学(2) 不動産鑑定評価論(4) 不動産会計財務論(2) 不動産ファイナンス(4) 不動産経営戦略(2) 不動産経営計画(2)		不動産数理(2)		18 (編入学弾力認定) [注] 入学前の学修状況(修得科目等)により個別に合計18単位認定する。 したがって、編入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。
選択科目		都市と建築の基本法(2) 住宅計画(2)		不動産政策史(2) デザインの基礎演習(4) 建築史(2) 住宅地計画実習(2)			
		借地借家法・区分所有法(2) 開発行政法(2) 不動産トラブルと法(2) 都市と環境の経済学(2) 法と政策の経済学(2) 集合住宅管理論(2) まちづくり演習(4) 不動産管理演習(4) 都市開発と社会基盤(2) 都市環境と防災(2) 建築計画(2) 設計製図A(2) 建築CAD演習(2) 建築環境計画(2) 建築材料学(2) 建築構造計画(2) インテリアデザイン演習(2) 建築環境デザイン(2) 建築設備(2) 材料学実験(2) 構造力学Ⅰ(2) 構造力学Ⅱ(2) 地理情報システム(4) 不動産キャリアデザイン(2) 海外不動産事情(2)		設計製図B(2) 建築生産(2) 卒業論文(6)			
		不動産特別講義Ⅰ(2) 不動産特別講義Ⅱ(2) <単位認定科目> 不動産特別演習Ⅰ(2) 不動産特別演習Ⅱ(2) 不動産特別演習Ⅲ(2) 不動産特別実習(2)					
実務演習科目		不動産実務演習Ⅰ(2) 不動産実務演習Ⅱ(2)					
合計卒業要件単位数(最低)					62	62	
					124		

*2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「[資本市場の役割と証券投資(2単位)]」及び「[証券投資シミュレーション(2単位)]」の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.78

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学時に 認定される 単位数	編入学後に 修得が必要 な単位数	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥			(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6			(卒業要件には算入されません。)	
計	32	32	-	-		
専門科目	必修科目	④⑥	⑫	③④ [*]	必修 全13科目34単位修得(認定単位数を含む。)	
	選択必修科目	学科共通	20	20 [*]	選択必修 【学科共通】から20単位修得(認定単位数を含む。) (*20単位を超えて修得した単位→「その他【専門科目】」へ算入)	
		コース科目	18	18 [*]	選択必修 【コース科目】から18単位修得(認定単位数を含む。) (*18単位を超えて修得した単位→「その他【専門科目】」へ算入)	
	その他【専門科目】	8		8 [*]	選択 選択必修科目、選択科目及び実務演習科目から8単位修得 (認定単位数を含む。)	
	計	92	30	62	-	
合計	124	62	62	-		

*入学前の学修状況(修得科目等)により個別に認定する。したがって、編入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位

不動産学部 不動産学科 デザインコース 教育課程表

2022年度版 (18-22 不編-テ)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、()の数字は単位数)				編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数(最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学包括認定)	-
	人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	人間形成ゼミナール(2)				-
	国際理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)				-
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)				-
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)			-
		<単位認定科目>	インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)		インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)
			特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)				
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>	*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.78				
		<産学連携教育プログラム>	*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.83 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通識者養成特別プログラム				
	専門科目	必修科目	●不動産学基礎演習(4) ●不動産取引演習A(4)	●不動産取引演習C(4)			
●財産法の基礎(2) ●ミクロ経済学(2) ●都市計画の基礎(2) ●建築一般構造論(2) ●不動産法入門(2) ●不動産公法(2) ●不動産取引演習B(4)			●不動産学のための数学と統計(2)	●Basic English for Real Estate Business(2) ●Advanced English for Real Estate Business(2) ●不動産学研究(4)	●不動産学卒業演習(4)		(注) 38
選択必修科目		学科共通	担保物権法(2) 債権法(4) マクロ経済学(2) 土地と住宅の総論(2) 会計学の基礎(2) 経営分析(2) 都市計画(2) 測量と地図(2) 地籍と不動産登記(2) 不動産情報処理演習(2) ハウジング論(2) 物権法(2)				(注) 20
		コース科目		集合住宅管理論(2) まちづくり演習(4) 都市開発と社会基盤(2) 建築環境計画(2) 建築設備(2) 地理情報システム(4)	不動産経営計画(2) 不動産管理演習(4) 設計製図A(2) 建築材料学(2) 構造力学Ⅰ(2)	18 (編入学弾力認定)	(注) 16
選択科目			都市と建築の基本法(2) 建築史(2)		設計製図B(2) 建築生産(2)		
		不動産政策史(2) 不動産数理(2)					
実務演習科目	不動産特別講義Ⅰ(2) 不動産特別講義Ⅱ(2) <単位認定科目> 不動産特別演習Ⅰ(2) 不動産特別演習Ⅱ(2) 不動産特別演習Ⅲ(2) 不動産特別実習(2)	借地借家法・区分所有法(2) 会社法(2) 不動産トラブルと法(2) 環境法(2) 計量経済学(2) 不動産鑑定評価論(4) 不動産ファイナンス(4) 不動産経営戦略(2) 建築計画(2) 建築構造計画(2) 建築環境デザイン(2) 構造力学Ⅱ(2) 海外不動産事情(2)	開発行政法(2) 家族法(2) 不動産金融法・不動産税法(2) 都市と環境の経済学(2) 不動産金融論(4) 不動産会計財務論(2) 法と政策の経済学(2) 都市環境と防災(2) 建築CAD演習(2) インテリアデザイン演習(2) 材料学実験(2) 不動産キャリアデザイン(2)	卒業論文(6)			
合計卒業要件単位数(最低)					62	62	
					124		

*2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「(資本市場の役割と証券投資(2単位))」及び「証券投資シミュレーション(2単位)」の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.78

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学時に 認定される 単位数	編入学後に 修得が必要 な単位数	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥				(履修できません。)
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6				(卒業要件には算入されません。)
計	32	32	-	-		
専門科目	必修科目	⑤⑩	⑫	③⑧ [*]	必修 全15科目38単位修得(認定単位数を含む。)	
	選択必修科目	学科共通	20	18 [*]	20 [*]	選択必修 【学科共通】から20単位修得(認定単位数を含む。) (*20単位を超えて修得した単位→「その他【専門科目】」へ算入)
		コース科目	16		16 [*]	選択必修 【コース科目】から16単位修得(認定単位数を含む。) (*16単位を超えて修得した単位→「その他【専門科目】」へ算入)
	その他【専門科目】	6		6 [*]	選択 選択必修科目、選択科目及び実務演習科目から6単位修得 (認定単位数を含む。)	
	計	92	30	62	-	
合計	124	62	62	-		

※入学前の学修状況(修得科目等)により個別に認定する。したがって、編入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位